

弊社投資信託の基準価額下落について

1月18日の株式市況も前日に引き続き大幅に下落し、下表の通り弊社投資信託のうち7ファンドにつきまして基準価額が前日比5%を超える下落率となりましたことから、その状況をご報告させていただきます。

(1月18日の基準価額が前日比5%以上下落したファンド)

ファンド名	基準価額 (1月18日)	前日比
三菱UFJ 日本成長株オープン (愛称:ブルーム)	15,496 円	1,133 円(6.81%)
三菱UFJ メロングローバルイノベーション (愛称:ニュートン)	10,047 円	570 円(5.37%)
日本・小型株・ファンド (日本株セレクト・オープン“日本新世紀”)	16,743 円	1,184 円(6.60%)
三菱UFJ 中小型成長株ファンド (愛称:デュアルセクション)	15,171 円	978 円(6.06%)
JASDAQオープン	18,272 円	1,599 円(8.05%)
Jオープン(店頭・小型株)	17,958 円	1,314 円(6.82%)
低位株リバランスオープン	8,479 円	527 円(5.85%)

1月18日の株式市況は、ライブドア本社への家宅捜索に端を発した情報技術関連銘柄の下落を受けた個人投資家の信用取引の手じまい売りなど朝方から軟調な展開となりました。さらには、後場には東京証券取引所が約件数の急増を理由に取引停止の可能性を表明したことによる保有株式の前倒しと思われる売却も広がり株式市況の下落は加速いたしました。特に、ライブドアあるいはその関連銘柄が属する新興市場の下落幅はより大きなものとなりました。

こうしたマーケット動向が影響し、中小型株を主たる投資対象とするファンドを中心に基準価額の下落率は大きなものとなりました。

今後につきましては、短期的には東京証券取引所の取引処理能力の問題による影響等が懸念されますものの、これまで活況な株式市況の牽引役となってきた日本経済のファンダメンタルズ(基礎的条件)の強さ自体に変化は無く、現状の株式市況に対する波乱要因が落ち着くにつれ、ファンダメンタルズに着目した株価形成がなされていくものと思われます。

上記ファンドを含む全ての弊社投資信託につきまして、基本的な運用方針に変更はございません。取引制限等による組入銘柄の流動性低下等に十分留意をばらい、引き続き、各ファンドのコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

(ご参考: 関連株価指数)

指数名	指数 (1月18日)	前日比
TOPIX(東証株価指数)	1,574.67	56.94(3.49%)
日経平均株価	15,341.18	464.77(2.94%)
東証大型株指数	1,569.84	46.00(2.85%)
東証中型株指数	1,657.77	63.01(3.66%)
東証小型株指数	2,477.94	142.98(5.46%)
JASDAQ INDEX	123.73	10.41(7.76%)
東証マザーズ指数	2,171.45	298.44(12.08%)